



熊本県人権啓発  
キャラクター  
「コッコロ」



菅井育美さん

片山紗雪さん

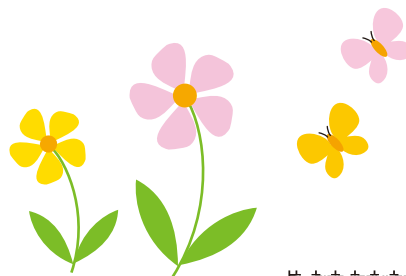
TETOさん

©2010 熊本県くまモン  
撮影日 令和4年10月28日

熊本県 × 人権 × 096k 熊本歌劇団 「熊本県人権月間」において、096k 熊本歌劇団と連携した人権啓発活動を行いました。

## もくじ

- 2P ● 部落差別を断ち切るのは、私たち  
● 多文化共生の地域づくりを目指して
- 3P ● 性的指向・性自認に関するシンポジウム  
「あなたらしく わたしらしく」  
● 熊本県人権フェスティバルを開催しました!
- 4P ● お知らせと相談窓口のご案内



この情報誌には  
音声コードが印  
刷されています。



Uni-Voice

# 部落差別を断ち切るのは、私たち



## 差別のバトンは 渡さない

### 部落差別を断ち切るのは、私たち

偏見や思い込みで差別をする人がいる  
放っておいて、それはなくなるの？  
私たちの思いで見えない壁を壊すんだ  
私の気持ちは私が決める

熊本県では、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現するために、「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」を制定しています。

部落差別のない社会の実現に向け、私たちみんなで取り組んでいきましょう。

## 多文化共生の地域づくりを目指して

国際化の進展に伴い、在留外国人数は年々増加しており、観光やビジネスなども含め、諸外国との人的・物的交流の規模は、ますます拡大していくことが予想されています。

日本に在住、あるいは訪問する外国人に対する就労差別や入居・入店拒否などはあってはならないものです。

外国人に対する偏見や差別は、異なる民族・国・地域・文化等について正しい理解がなされていないことや、伝統的な価値観を有する地域社会の中で、外国人や異文化に対して閉鎖的になっていることなどが要因だと考えられます。

いろいろな国の人と交流し、歴史や文化の違いを知ることでお互いを一人の人間として認め合い、尊重し合う関係を築くことが大切です。





2022  
熊本県人権月間  
11.27  
Sun

令和4年度(2022年度)性的指向・性自認に関するシンポジウム

# あなたらしくわたしらしく

性的少数者と言われる人たちは私たちの身近にいます。しかし、私たちはその存在にあまり気付かずに生活しているのではないのでしょうか。そこで、性の多様性について理解を深めていただくため、シンポジウムを開催しました。



ホテル熊本テルサ



はるな愛さん  
(歌手・タレント)

LGBTという言葉を知るより、  
隣の人に寄り添ってほしい

男女共用トイレも、今しっかりと普及しています。あと数年後には、  
どんどん増えていくと考えています



重留美穂さん  
(TOTO 株式会社)



日高庸晴さん  
(宝塚大学教授)

いじめられている人の6割方は「ホモ」「オトコオンナ」という、いわゆる男らしくないという視点で  
いじめが起こっている



たくさんの御参加  
ありがとうございました



2022  
熊本県人権月間  
12.4  
Sun

令和4年度(2022年度)

# 熊本県 人権フェスティバルを開催しました!



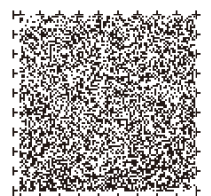
木村 響子さん  
NPO法人リメンバーハナ代表理事  
元プロレスラー

熊本県人権フェスティバルでは、木村響子さん(写真)に『ヤサシイハナヲサカセマショウ』~花が望んだ優しい世界を想いながら~という演題で講演していただきました。

木村さんはSNSでの誹謗中傷により最愛の娘である木村花さんを失いました。その哀しみ、苦しみ、無力さに苛まれる中で、せめて花さんのためにできることはないかと考え、NPO法人リメンバーハナを立ち上げ、誹謗中傷の被害者も加害者も減らすことを目標に、様々な啓発活動を積み重ねておられます。

講演の中で、木村さんは、参加者との意見交換をとおして、何が正解かを考え続け、人権感覚をアップデートしていくこと、本などから様々な言葉を学ぶことで優しい言葉を蓄えるとともに、SNS等の交流サイトでは優しい言葉を遣い、優しさの連鎖を生み出すことの大切さを訴えられました。

利用者一人一人が正しい情報を見極め、活用する力を身に着けるとともに、インターネット上でも日常生活と同じように、ルールやマナーを守り、自他を大切にする意識を高め、行動することが大切です。



令和4年度(2022年度)

## 人権メッセージ募集事業 優秀作品の発表

「あなたらしく、私らしく生きること～伝えたい。思いあい・認めあいの心～」をテーマに人権メッセージを募集したところ、2000点を超えるご応募をいただきました。

厳正なる審査により、優秀作品30点を選定しました。

なお、優秀作品は、ポスターや作品集にして熊本県のホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。

人権メッセージデジタル作品集（熊本県ホームページより）



右のQRコードを読み取ってアクセスできます。



## 熊本県人権センター 新着DVD紹介

- 部落の心を伝えたいシリーズ第33巻 12年後の決断～吉岡 綾～〔同和問題（部落差別）〕
- 考えてみよう差別の歴史②中世のケガレ観と差別〔同和問題（部落差別）〕
- スマイリーキクチと考えるインターネットの正しい使い方〔インターネットによる人権侵害〕
- 日頃の言動から考える職場のハラスメント〔ハラスメント〕
- LGBTと社会③公共機関 誰もが安心して相談できる窓口へ〔性的指向・性自認に関する人権〕
- どう防ぐ？児童虐待体罰は必要なのか〔子どもの人権〕
- 共に働くための合理的配慮〔障がい者の人権〕
- にんげん図鑑 人権問題と向き合うために〔人権全般〕

人権啓発ビデオ一覧は  
こちらから



## 人権に関する相談窓口

専門の相談員が、電話で人権に関する相談をお受けします。

**相談専用TEL** 096-384-5822

**受付時間** 月曜日～金曜日

【祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く】

9:00～12:00

13:00～16:00

熊本県人権センター  
(熊本県人権同和政策課内)



## 情報誌へのご意見・ご感想をお寄せください

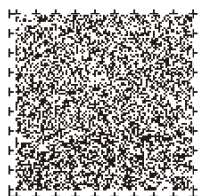
ご住所・ご氏名を明記のうえ、ご意見・ご感想をお寄せいただいた方の中から、抽選で10名の方に熊本県人権啓発グッズを差し上げます。

**送付先** 〒862-8570  
熊本市中央区水前寺6-18-1  
熊本県人権センター  
(熊本県人権同和政策課内)

**TEL** 096-333-2299

**FAX** 096-383-1206

**MAIL** jinken@pref.kumamoto.lg.jp



ホームページへのアクセスは

熊本県人権センター

で

検索

※右のQRコードを読み取ってもアクセスできます。



発行者：熊本県

所属：人権同和政策課

発行年度：令和4年度(2022年度)